

ISOねじ使用

〈概略仕様〉

構成

回路方式 1IC, 1FET, 10Tr スーパーヘテロダイ
アンテナ方式 MW: パーアンテナ 10φ×160mm
FM, SM: ロッドアンテナ 7段 86cm
外部アンテナ端子付 (75Ω)

大きさ 幅 206 × 高さ 134 × 奥行 60mm
重さ 1.2kg (電池を含む)
電源 DC 4.5V (UM-2 × 3)
外部電源ジャック付

スピーカー 9.2 cm φ 8 Ω
ジャック MPX, OUT, AUX IN, REC OUT
DC OUT (TIMER), EARPHONE
EXT POWER IN

電気的特性

〈AM部〉

受信周波数 MW: 530~1,605 kHz
SW: 3.9~12 MHz

中間周波数 455 kHz

最大感度 MW: 25dB/m (18μV/m)
(出力 50mW時)

SN比 SW: 3 dB (約1.4μV)
MW: 37dB (入力 60dB, 1,000kHzにて)
SW: 45dB (入力 44dB, 8 MHzにて)

選択度 31 dB (1,400kHzにて)

〈FM部〉

受信周波数 76~90 MHz
中間周波数 10.7 MHz
最大感度 -8 dB (0.4μV)……S/N 6 dB時
(出力 50mW時)

実用感度 2 dB (1.26μV)……S/N 30dB時
(出力 50mW時)

SN比 60dB (入力 54dB, 83MHzにて)

〈MIC部〉

送信周波数 76~90 MHz
アンテナ ロッドアンテナ (ラジオと共用)
マイク スピーカ兼用
通達距離 約 30m (室内)

出力

〈AM・FM共通部〉
無ひずみ最大: 1.8 W
最大: 2.5 W
無信号時: AM 23 mA
FM 32 mA
無ひずみ最大出力時: 750 mA

消費電流

付属品

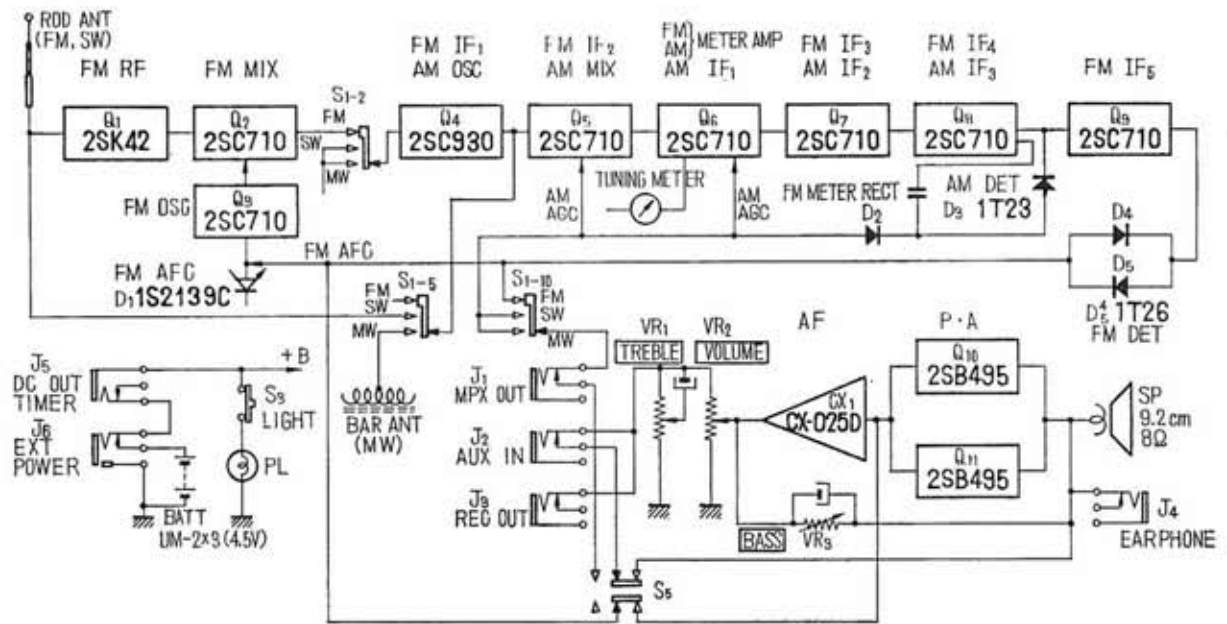
現用電池	UM-2	3
イヤホン	ME-20	1
ACアダプタ	AC-110	1
キャリングケース		1
イヤホンケース		1
肩掛けバンド		1
その他	シリコン布, 印刷物一式	

THE 1100D

¥ 15,500

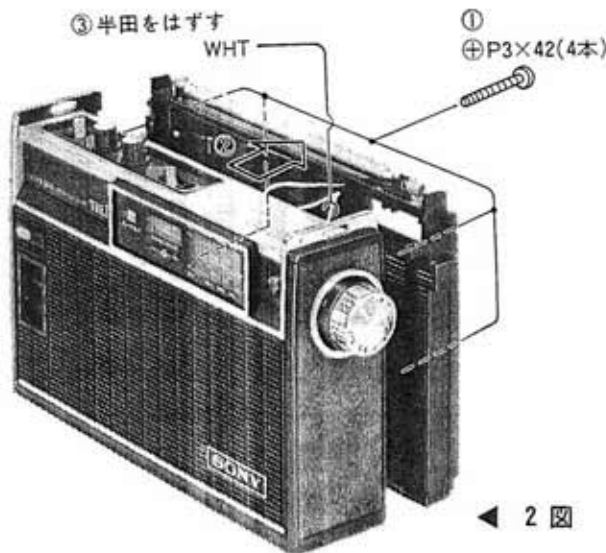
SONY®

【ブロックダイアグラム】



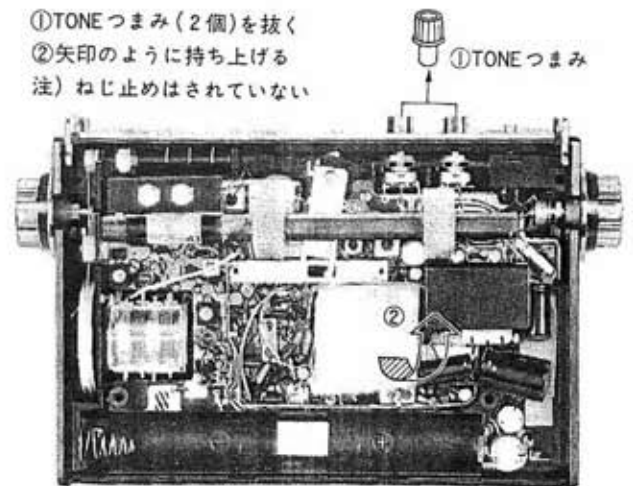
1 図 ▲

【外筐のはずし方】



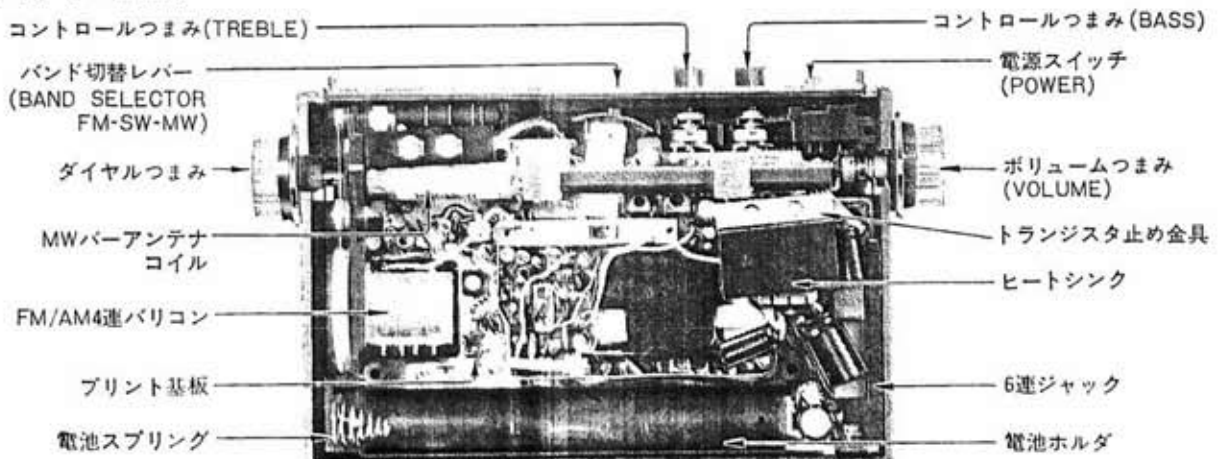
2 図 ◀

【シャシのはずし方】

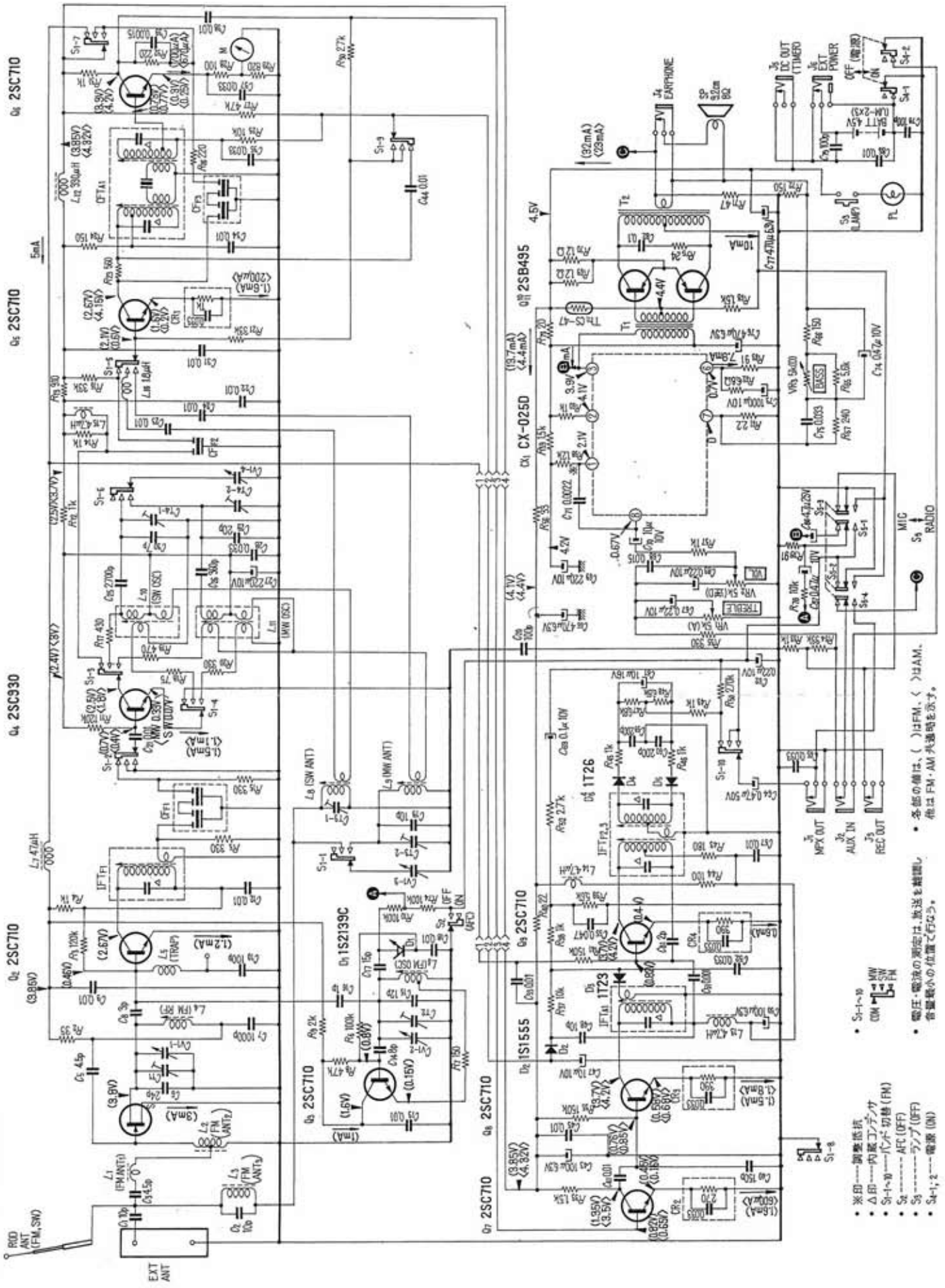


3 図 ▲

【各部の名称】



【回路図・電圧電流分布図】



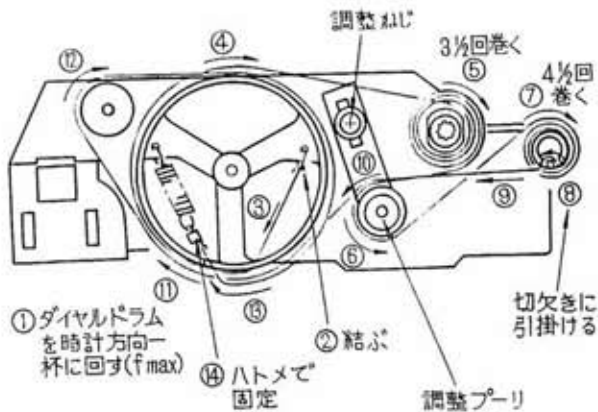
- ※印...調整抵抗
- △印...内蔵コンデンサ
- S1-1...バンド切替(FM)
- S2...AFC(OFF)
- S3...ランプ(OFF)
- S4-1,2...電源(ON)

• 各部の偏は、()はFM、()はAM。
他はFM・AM共通時を示す。

【ダイヤル糸掛け】

5図を参照し、次の要領で行なってください。

- 1) 650mmくらいのダイヤル糸(0.3φ)を用意する。
- 2) ダイヤルドラムを時計方向一杯に回す(①…fmax)
- 3) ②~⑬の順に糸を掛ける
- 4) スプリングを少し張った状態でハトメで糸を固定する(⑭)

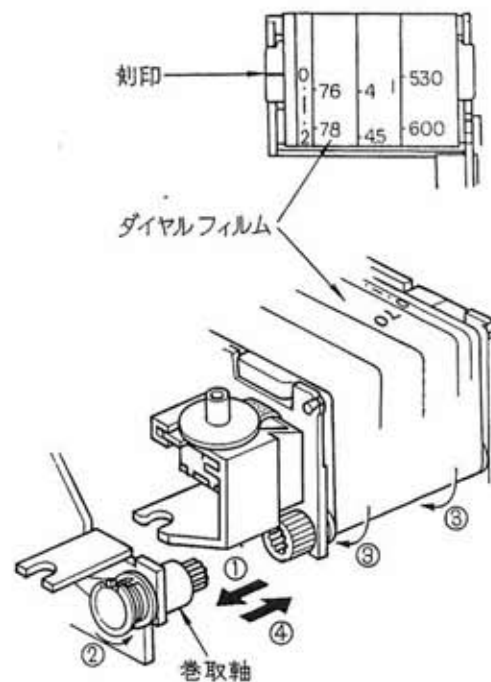


5図 ▲

【ダイヤルフィルム調整】

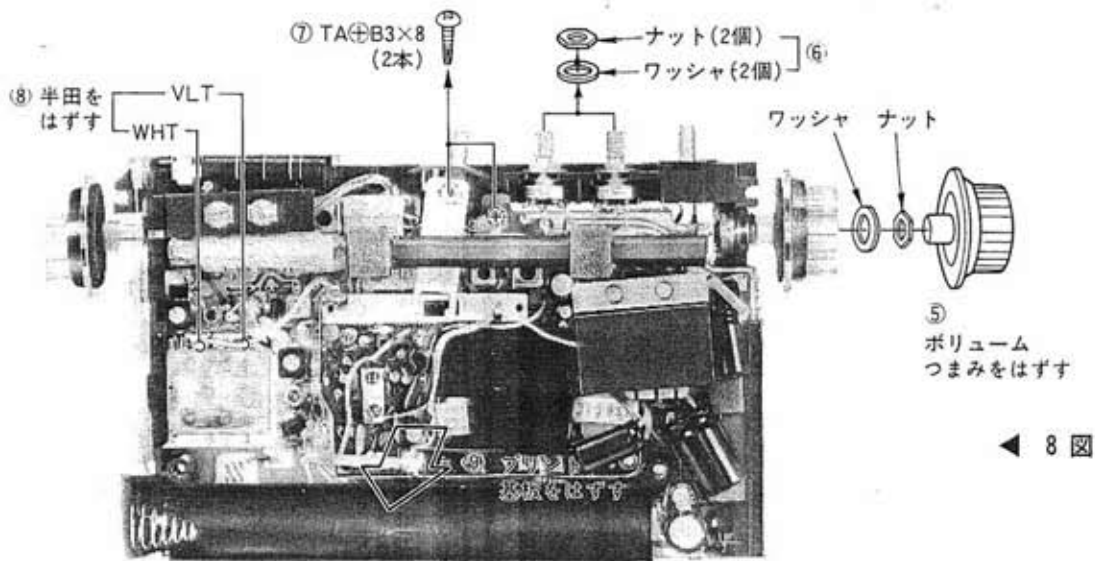
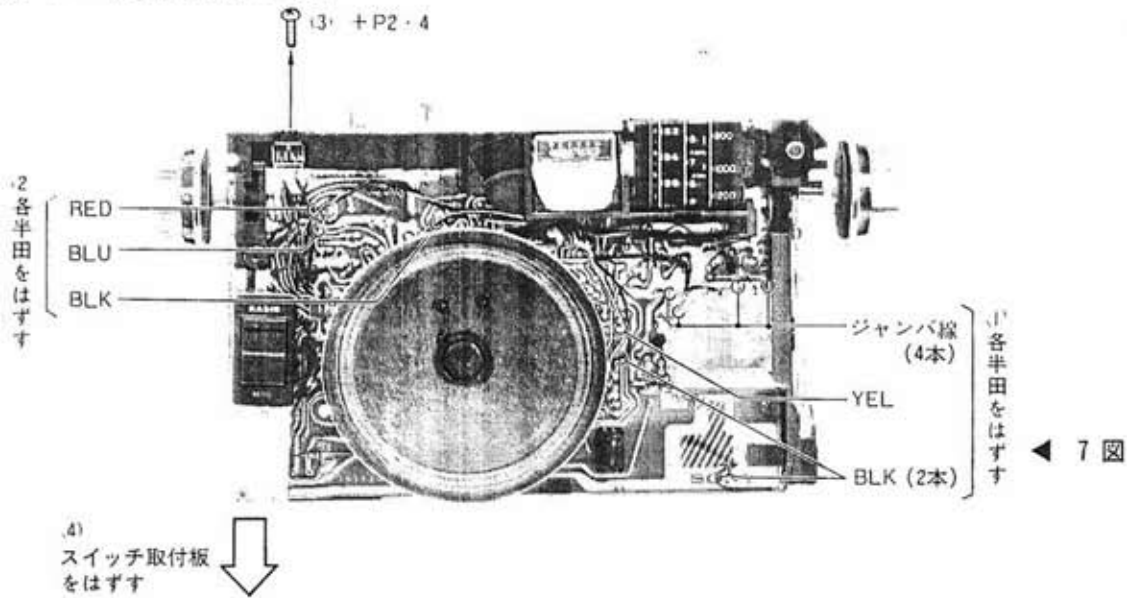
糸掛け終了後、6図を参照し、次の要領で行なってください。

- 1) 巻取り軸をはずし(矢印①)ダイヤルシャフトを反時計方向一杯に回す(巻取軸は矢印②の方向に回るfmin)
- 2) ダイヤルフィルムを巻込み(矢印③)、シャシの刻印とダイヤルフィルムの“0目盛”をあわせる。
- 3) 巻取り軸を差し込む(矢印④)
- 4) 最後に5図の調整ねじをゆるめ、調整プーリを動かして、2)の0点調整を完全に行ない調整ねじを固定する。



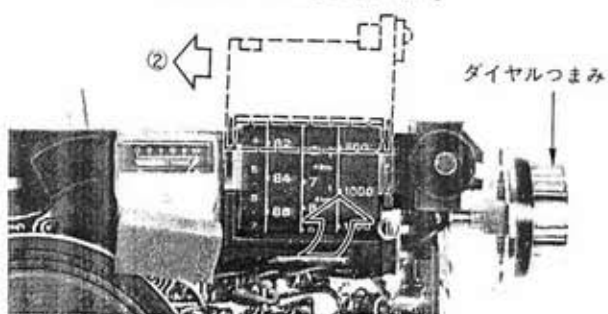
6図 ▲

【プリント基板のはずし方】



【フィルムシャシのはずし方】

注) ねじ止めはされていない。

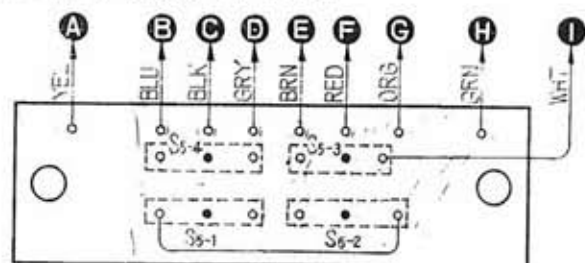


【ご注意】

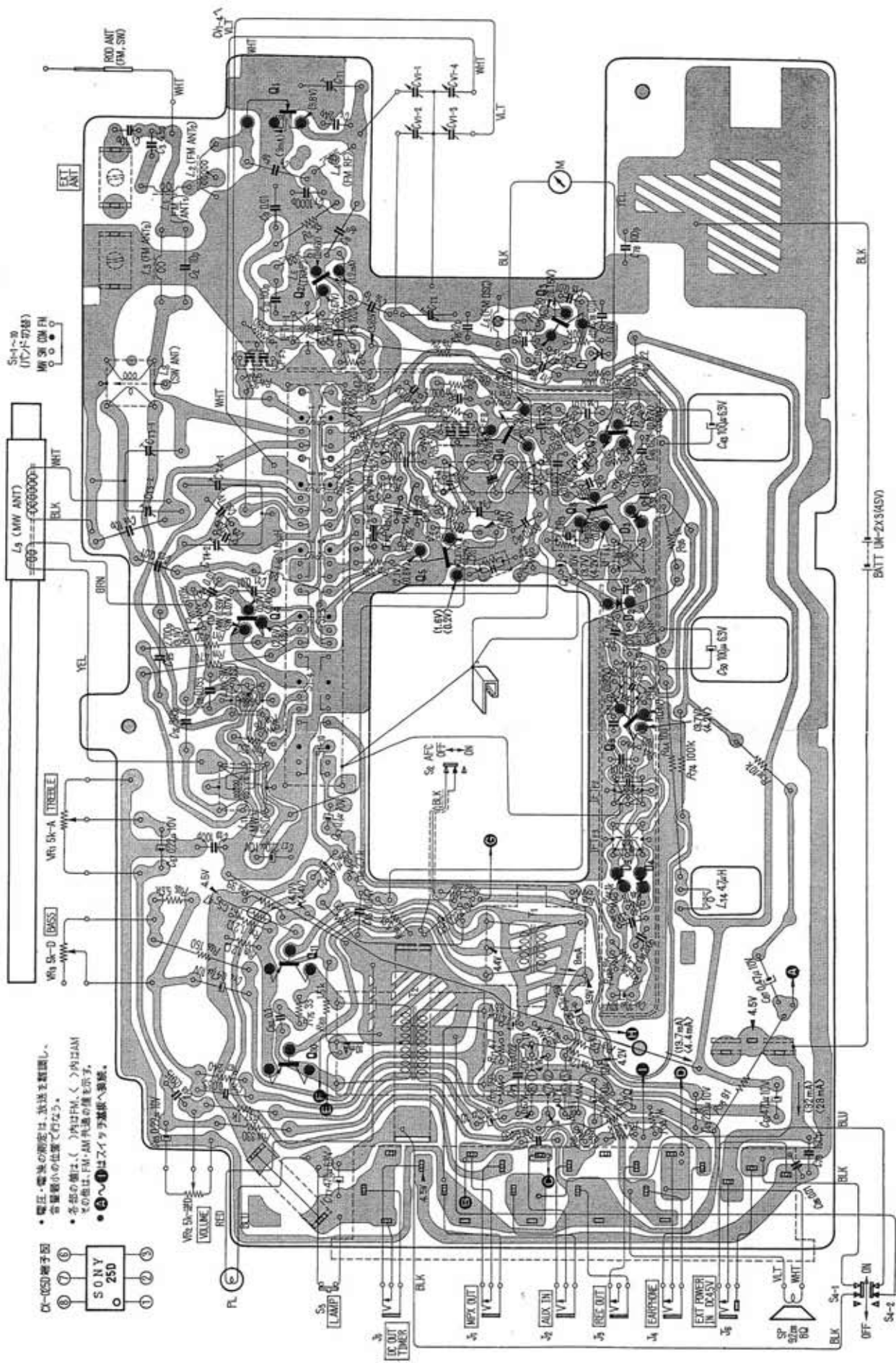
R₃₃は使用するパワートランジスタ (Q_{10,11} 2SB495) のhFEおよびIC (CX₁ CX-025D) の末尾により異なります。修理の際は下表に従って交換してください。

Q _{10,11}	CX ₁	CX-025D-10	CX-025D-20
2SB495-25		3.9kΩ	1.2kΩ
2SB495-26		1.2kΩ	620Ω

【スイッチ基板プリント図】



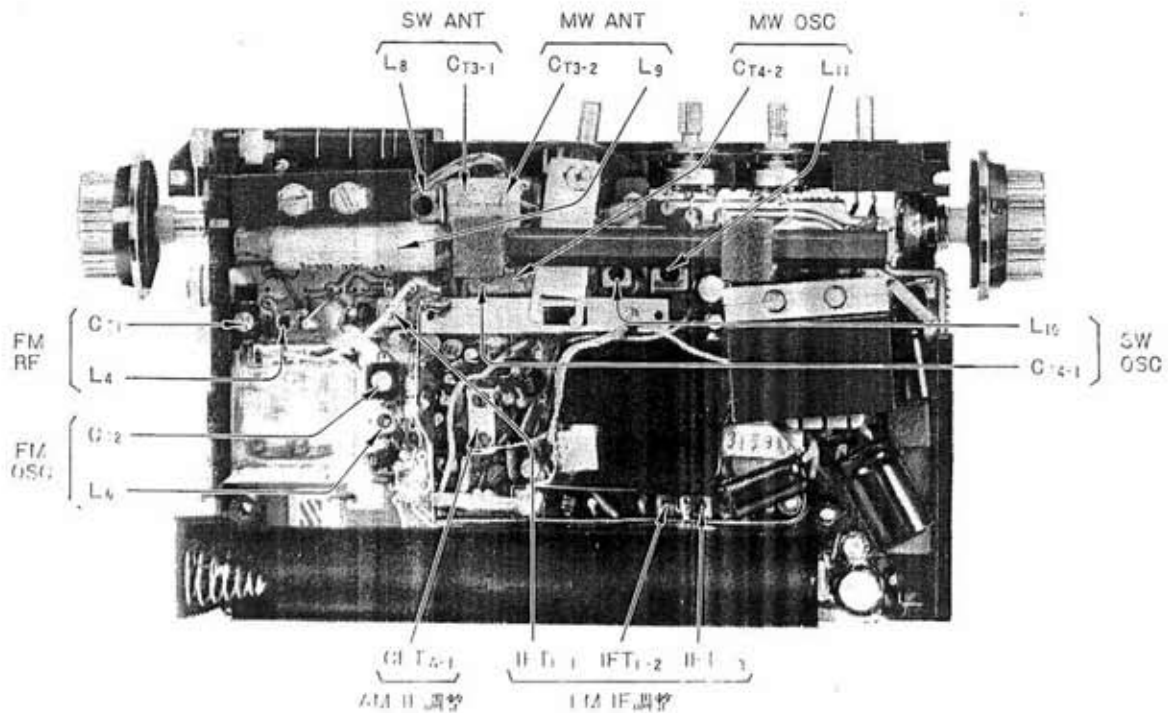
【メイン基板プリント図】



【調整要領】

	調整回路	発振器周波数	ダイヤル位置	調整個所	調整方法
M W	中間周波	455 kHz	ビートを起 こさぬ位置	CFT _{A-1}	出力最大となるようにコアを回す
	発振 (受信範囲)	520 kHz 1,680 kHz	低 端 高 端	L ₁₁ C _{T4-2}	受信できるようにコアを回す # トリマを回す
	アンテナ (トラッキング)	620 kHz 1,400 kHz	正しく同調 をとる	L ₉ C _{T3-2}	出力最大となるようにコイルの位置を動かす # トリマを回す
S W	発振 (受信範囲)	3.8MHz 12.3MHz	低 端 高 端	L ₁₀ C _{T4-1}	受信できるようにコアを回す # トリマを回す
	アンテナ (トラッキング)	3.8MHz 12.3MHz	正しく同調 をとる	L ₈ C _{T3-1}	出力最大となるようにコアを回す # トリマを回す
F M	中間周波	10.7MHz	ビートを起 こさぬ位置	IFT _{F-1} IFT _{F-3}	出力最大となるようにコアを回す
	発振 (受信範囲)	75MHz 91.5MHz	低 端 高 端	L ₆ C _{T2}	受信できるようにコアを回す # トリマを回す
	高周波 (トラッキング)	75MHz 91.5MHz	低 端 高 端	L ₄ C _{T1}	出力最大となるようにコアを回す # トリマを回す
	検波	放送を受信し正確に同調をとる		IFT _{F-3}	音質最良となるようにコアを回す

【調整個所】



10 図 ▲

【部 品 表】

品 名	部品コード	定 価 (円)	備 考
キャビネット本体組立	X-38429-81-0	1,200	奥蓋含まず 電池蓋含まず
" 裏蓋組立	X-38404-82-2	300	電池蓋含まず
電池蓋組立	"-85-0	50	
ダイヤルつまみ組立	"-03-0	80	
ボリュームつまみ組立	"-04-0	80	
TONE つまみ組立	"-84-0	20	
AFC つまみ組立	"-02-0	40	
側面エスカッション(右)	01 3-840-475-11	40	01: ブラウン 11: グリーン 21: ベージュ
" (左)	01 "-476-11 21	40	"
取手取付金具	"-460-00	120	
アンテナキャッチャ	3-830-378-00	10	
ス ピ ー カ	1-502-310-00	400	9.2cm 8Ω
ロッドアンテナ	1-501-106-00	350	
チューニングメータ	1-520-099-00	450	
6 連 ジャ ッ ク	1-507-341-11	250	J ₁ ~6
V R 5kΩ-逆D	1-222-508-11	60	VOL
" 5kΩ- A	"-521-11	60	TREBLE
" 5kΩ- D	"-522-11	60	BASS
電源スイッチ	1-514-729-21	120	
AFC スイッチ	1-513-284-00	50	